

私たちの暮らしを支える港の匠たちの安全・確実・迅速な物流技術を見に行こう！ 第41回神戸港フォークリフト荷役技能向上大会開催

1. 趣旨

関係官庁や港湾関連団体等で構成する神戸港フォークリフト荷役技能向上大会実行委員会（事務局：神戸観光局港湾振興部）では、10月9日（木曜）にフォークリフトを使った競技大会を開催します。荷物を運ぶ上で大切な「安全性・確実性・迅速性」を競いあうことにより、フォークリフト荷役技能のレベルアップを図り、港湾労働災害の防止に寄与すると共に、神戸港の優秀な荷役技能をPRします。

さらに昨年好評だった、最優秀技能者5名の選手によるフォークリフトの操作技能を披露していただくエキシビションマッチを実施。

大会はすべて一般見学可能（無料）。メリケンパークで繰り広げられる匠たちの技術を身边に感じていただける年に一度の機会です。



神戸港で働く匠たち



スピードと正確さを競う

2. 日時・大会スケジュール

2025年10月9日（木曜）※小雨実施

09時30分～10時00分	開会式（挨拶、選手宣誓等）
10時10分～11時20分	競技《午前の部》
11時20分～12時20分	休憩
12時30分～13時40分	競技《午後の部》
14時10分～15時00分	閉会式（表彰等）・最優秀技能者によるエキシビションマッチ

※時間は、競技進行状況により変更になる場合があります。

3. 場所

メリケンパーク（神戸市中央区波止場町2）

4. 競技内容

競技はフォークリフトによる方向変換競技とジグザグ競技の2種目。出場者はこの2つの競技を行い、合計得点（減点方式）によって最優秀技能者（減点が少ないもの）5名を決定します。採点は10名の審判団が行います。競技要領は別紙のとおり。

5. 出場者

神戸港を支える港湾企業 26 社から 26 名が出場。他にも港湾職業能力開発短期大学校の 1 名がオープン参加し、合計 27 名が出場します。

6. 最優秀技能者によるエキシビションマッチ

市民の皆様にも楽しんでいただけるよう、最優秀技能者となった選手 5 名が満水の水槽を運ぶエキシビションマッチを行います。ポイントはスムーズな動作と丁寧な運転で、前後左右の揺れをいかに抑え満水の水をこぼさないか。今年度の No. 1 を決定します。



水槽が載ったパレットをジグザグ運転しながら運搬。荷台への設置もあります。

水面がわかりやすいようにアヒルを浮かべて競技。アヒルが落ちないよう慎重に。

7. 新鋭フォークリフト展示会

会場にはメーカー 4 社の最新鋭のフォークリフト等の荷役機械を展示。

8. 大会組織

神戸港フォークリフト荷役技能向上大会実行委員会

(神戸運輸監理部・神戸東労働基準監督署・神戸市・兵庫県港運協会・兵庫県倉庫協会・神戸港沿岸荷役業会・神戸船内荷役協会・港湾労災防止協会兵庫県総支部・港湾労災防止協会神戸支部・神戸観光局港湾振興部)

9. 市イベントページ（「おでかけ KOBE」の URL）

<https://event.city.kobe.lg.jp/event/E4Gxpw9IiEg9dHrKNzhg>

この資料は、市政記者クラブ・民放記者クラブ・海運記者クラブに配付しています。

競技要領 2025年度

1. 方向変換・屈折コース

2025年度 (3.0t エンジンフォークリフト・オートマチック車)

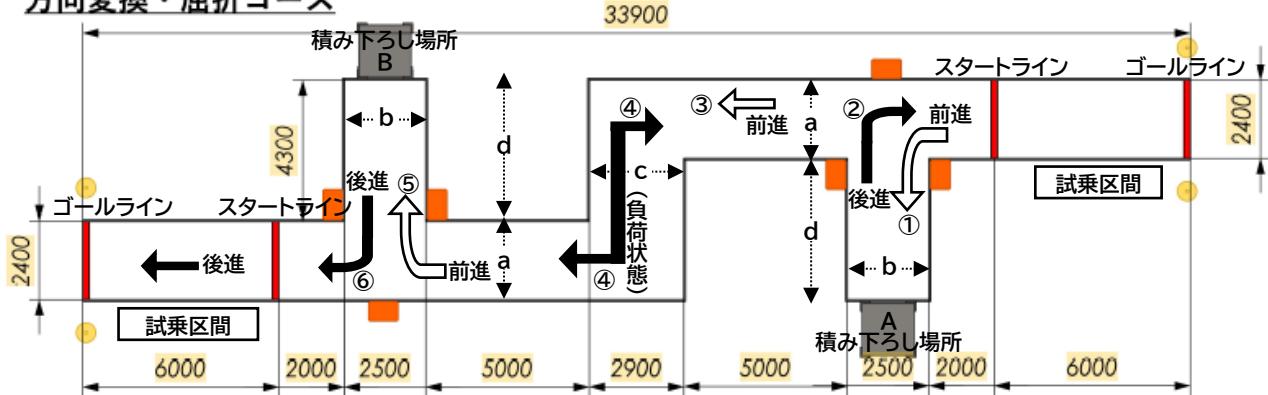
車両の全幅1.275m 全長3.790m

要 領

- (1) スタート地点より前進、左折①でA点の荷をくくう。
- (2) 後進で向かって左折②後、前進③。
- (3) L字クラシク④を負荷状態で通過。
- (4) 前進右折⑤で、B点へ荷を下ろす。
- (5) 後進右折⑥で、ゴール地点へ。 ※次の選手は逆側からスタート。

a → 2.4m
b → 2.5m
c → 2.9m
d → 4.4m

方向変換・屈折コース



2. 棒たてジグザグコース

2025年度 (2.5t バッテリーフォークリフト・オートマチック車)

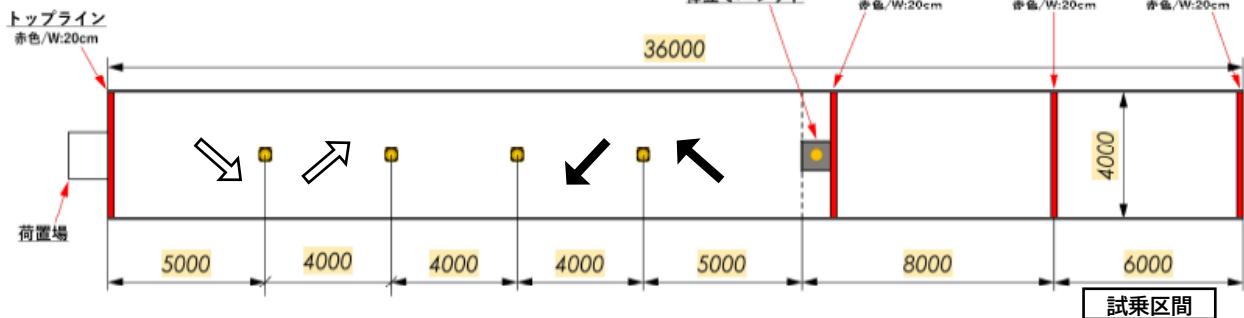
車両の全幅1.170m 全長3.360m

要 領

- (1) スタート地点より前進。
- (2) 中心に棒材を立てたパレットをくくい、コーン4本をジグザグにかわす。
- (3) トップラインの位置で一旦停止。パレットを荷置場へおろし地面に着けば再び上げる。
- (4) 後進でコーン4本をジグザグにかわし、パレットを元の位置に下ろす。
- (5) 後進してゴール地点で停止。

★棒を倒したら、係員が立て直すまでその場で停止し待機すること。

棒たてジグザグコース



基準時間：方向変換・屈折コース 2分40秒、ジグザグコース 3分00秒

★各コースとも競技終了時は停止処置を行い、エンジンを切ってキーを抜く。キーはスタートへ渡し、次の競技者に交代。

★試乗区域（6 m）は、慣熟操作（試し乗り）用に設定している。